

## 11302計量器測定器製造業における死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	起因物 (小)	労働 者規 模
1	2017	12	12~13	新しい工程に関する教育が開始され、その工程では十数種の部材を5~10pcsまとめてピッキングし、組立ラインへ供給する作業のほか供給のための前準備で、少し屈んだ姿勢で30分程の軽作業やコンテナ一杯の部品を棚や台車に載せる入庫作業等があった。なかでも腰を捻る動作や、屈んだ姿勢での作業が腰への負担となり、腰が痛み始めた。上長に相談し、屈んだ姿勢での作業を低減させる等の措置を取ってもらったが、腰痛は治らず、診察・検査で腰椎椎間板症の疑いと診断を受け、その後、腰痛で会社を欠勤している。	48	19	611	300~ 499
2	2017	11	9~ 10	大型ガスメーター組立職場にて、下ケースを両手で持ち上げ、作業台まで運搬する際、足元が確認しづらい状態であった為、元々置いてあった木製パレットに右足が躓き転倒した。その時に持っていた下ケースのエッジ部が、左手親指付根付近に当たり、裂傷を負った。	29	2	417	100~ 299
3	2017	11	17~ 18	5号機のプレス工程の部分で禁止されていた手を入れてエア掛けをしていたところ、プレス機が移動し右手が機械に持って行かれたがプレスする前に手を抜いた。手を抜いた時に右手甲と切り手を強く打った。	42	19	921	50~ 99
4	2017	10	10~ 11	本社工場へ製品を輸送後、本社工場にて製品を降ろす作業をしていた。網かごに入った製品を吊り上げ作業中、バランスを保つため、スリングロープをきっちりかけようと、立ち位置から中腰になった際、腰を痛めた。	49	19	921	10~ 29

5	2017	9	11~ 12	第二機械場にて、旋盤で金属切削後、切粉を端に寄せて持ち場に戻ろうとしたところ、足元に金属片（ステンレス切削片）が出っ張っており、それに当たった際に左足に裂傷が発生した。	53	8	521	50~ 99
6	2017	9	11~ 12	大物部品の入った箱（約10kg、奥行80cm）を現場作業棚の下段へ収納させる際に箱をスライドさせ収納しようとした所、作業棚のパイプに引っ掛かりそれを取り除こうと上に持ち上げたりずらしたりしている際に、腰部に負担が掛かり痛みが発生したものである。	33	19	611	100~ 299
7	2017	9	15~ 16	当該事業所内、安全帯ランヤード梱包作業場で、作業者左側の回転式ラックに保管してある縫製済み製品を取る際、通常であれば真横30cmで取れるよう回転させるところを、60cm離れた場所の物を無理な姿勢で取ろうとした為、左肩肩甲骨の関節を痛めてしまった。	31	19	921	50~ 99
8	2017	8	16~ 17	鋳造棟において、溶解された銅合金を柄杓の7合目まで入れたものを持ち、2~3歩歩行したところバランスを崩し、こぼれた銅合金が足にかかり負傷した。	49	11	521	10~ 29
9	2017	8	15~ 16	メーター組立ラインにて、小ひじ金セット作業を実施中に、後工程の上ケース締付工程のNG処理を行うため、空パレットを前工程者に要求したが、空パレットを流すタイミングが悪く、ワークを掴んだまま供給機がライン上で停止した。供給機よりワークを取り外そうと、メーター下部に左手を添え、右手で操作ボタンを押したが、押し間違えたためにワークが下降し、パレット治具とワークとの間に指を挟まれた。	53	7	167	100~ 299
10	2017	8	20~ 21	自動車用メーター類の組立作業に従事していた。夜勤勤務時間の休憩時、作業場である建屋2階より1階休憩所に移動中、階段の途中で貧血症状が現れ、倒れ込みながら階段を転落し	27	1	413	1000 ~ 9999

				受傷した。				
11	2017	7	14~15	電子硝子加工課のエッチングルーム内で、付着したフッ化水素を含むエッチング液を、水槽に入った井水ですすぐ作業をしていた。通常使用している長靴が破れていたため、丈の短い長靴を代用していた事と、保護用の耐酸エプロンの紐をゆるめていた事で両足のカバーができていない状態となり、水槽からこぼれた井水がかかり、災害が発生した。	27	12	519	10~ 29
12	2017	7	9~10	1階と2階の間を冷房のない倉庫内で荷（製品）の上げ降ろしをしていた。被災者は作業中に急にめまいがして倒れた。周りにいた者に声をかけられ、涼しいところに導かれて休息し動けるようになった。発症日の2日前から、仕事に足がつったり、めまいがしていた。	48	11	715	300~ 499
13	2017	7	10~11	当社、工場において、納品された鉄フラットバー（28mm×50mm×5500mm、60kg/本）を業者のトラックから荷降ろしする際に、トラック後方のアオリ（アオリ高1.4m、荷台高1.0m）の上から左手を入れ、鉄フラットバーの端を片手で持ち上げたところ、無理な姿勢だったために左肩に負担が掛かり受傷した。今後は、荷台に上がり、無理のない姿勢で、2名以上で作業を行うこととした。入院・手術のため休業となった。	49	19	921	1~9
14	2017	6	12~13	昼食後の歯磨きのために事務所2階から女子トイレに向かって階段を下っていたところ、踊り場手前3段目の所で階段を踏み外し、踊り場まで落ち転倒した。その際に右足甲を骨折した。	50	1	413	300~ 499
15	2017	5	16~17	測定機の石テーブルの上で定期検査作業中、足場台（台形）の安全ロックが完全にセットされておらず、足場台の右側が内側に倒れ、バランスを崩し石テーブル上に落下し、右手右尻を強打した。	41	1	391	1~9

16	2017	2	18~19	作業エリアの隣りにある倉庫内の通路にて電卓を探していた。後ろ向きで少し下がったところ、通路も狭くなっており、部品棚の足につまずき、よろけながら転倒し、お尻を強打した。翌朝痛みが激しいため病院を受診したところ、診断が下り、そのまま入院することとなった。	47	2	417	100~ 299
17	2017	1	10~11	工場内（出荷の為の作業中）、約1m×0.5mの直角定規を入れた木箱のカナグ止めのところを、テープで巻いていた時、直角定規（約30kg）が傾き右手示指、中指にあたり打撲した。	38	7	611	10~ 29
18	2017	1	10~11	工場内において、作業者が研磨キで加工終了後、研磨キのスイッチを切らずTELのため機械の前より離れた時、被災者が次の作業のため研磨キに掛けてあった製品約100コを右側よりエアガンで清掃している時、ト石が回転していないと思い奥の製品を取る時ト石に左手示指中指先がふれ負傷した。	64	8	153	1~9
19	2016	11	13~14	中2階に格納していたストーブと夏季使用のスポットクーラーの入替作業を行っていた。器具をパレットに載せ、フォークリフトにて上昇させる時に器具が不安定になる為に作業員1名がパレットに乗り器具を押さえながら上昇していたが、フォークリフトが急に後退し、パレットに乗っていた作業員が約1.5mの高さから落下し、下にあった装置に左肘を強打し骨折した。	34	1	222	50~ 99
20	2016	9	15~16	工場内にて治具を吊り上げる際、引っ掛けた場所がスクリュー状だった為、摩擦でワイヤーが切れ治具が落下し、クッション用の盤木の上に落ちた。その際、盤木が割れ跳ね飛んだ為、安全靴を履いていたが、その盤木が足の甲に当たり負傷した。	49	4	372	10~ 29
21	2016	9	8~9	朝の清掃作業後に、管理棟1階噴水横の清掃用具庫に荷物を置いていた為取りに入ろうとし、倉庫入口前の敷石上で足を	48	2	417	500~

				滑らせて転倒し、右足首を捻った。				999
22	2016	9	8～9	工場内でベンダー加工が終わり、金型を外す際に、上型を左方向へずらしていると、上型が外れ、そのまま上型と下のベース台の取付の金具あたりに左ひとさし指が挟まった。	53	7	154	300～ 499
23	2016	8	11～ 12	ラベル製造に使用する原反の上げ下ろしを行った際、腰に痛烈な痛みを感じ作業を中止したが、翌朝から起き上がれない状況になった。	43	19	529	500～ 999
24	2016	7	9～ 10	塗装係から返却されたガバナーを2人作業でパレットからパレットへ移し替える作業で、製品の下に敷いてあった紙が製品に付いていた為、製品を置き、一人が製品を傾け、紙を取ろうとした。あと少しで紙が取れるところで、製品を傾けていた作業者が、前傾姿勢で製品を持ち上げたため、腰を痛めた。	51	19	921	100～ 299
25	2016	7	10～ 11	工場の組立室にて使用していた溶接設備において、分岐しての二人作業に適していない条件で作業を実施していたために、作業者の一人が握っていたハンドトーチに水素ガスが逆流し急速に熱が溜まり、指を火傷した。	21	11	331	10～ 29
26	2016	5	13～ 14	施設内において行われていた、一般健康診断の採血の際、右腕に電気が走るような痛みを感じた。	38	90	911	500～ 999
27	2016	2	17～ 18	従業員玄関で帰宅のため靴を履き替え階段を下りる際、階段が凍結していた為、転倒し、右膝を強打。	64	2	413	300～ 499
28	2016	2	8～9	出勤時、南門から入場し、トラックが停車していたため、正面方面へ直進できず廃棄物倉庫の前を東に向かって歩いた。一部凍結している所があり、そこに足を置いた時に滑ってあお向けに転び尻もちをついた。	64	2	719	100～ 299
29	2015	12	17～	事務所の階段を3Fから1Fに下る際に、途中にある踊り場の一段手前で階段が終了していると誤認し、足を踏み外して転	52	2	413	300～

			18	倒。左腕の上腕部を階段にて強打し、骨折。				499
30	2015	10	15～ 16	電線加工場所で電線ケーブルを切断の時、電線切断機高精度シンプルカッターが作動中に切断機出口より、電線の先端をつかみに行ったところ、指が7センチほど挿入してしまい指先を負傷。	34	7	169	50～ 99
31	2015	10	9～ 10	事業所内のスマートメーカー計量部組立にて、プリント板の捨て材を折るために設備にプリント板をセットし、エリアセンサー部から手を抜いた。その後プリント板がずれていることに気付いた為直そうとし、通常なら機械を一時停止後再起動させるが反射的に手を設備に入れてしまい、降りてきた治具に左の指を挟まれた。	44	7	159	100～ 299
32	2015	10	15～ 16	18～20kgのポリタンクを台車に揚げ降しする際に腰を痛めた。	32	19	611	30～ 49
33	2015	8	9～ 10	簡易修理工程内を移動しようとした時、メーターが入ったダンボール箱に右足を引っ掛け転倒した。転倒する際に両手にメーターを持っており、とっさに放り投げて地面に両手をついたが、転倒の勢いが止まらず頭部を地面にぶつけた。	44	2	611	100～ 299
34	2015	7	10～ 11	塗装場で水道メーター塗装の補助として、塗装ラインから塗装されて出てきた水道メーターをコンベア上に置き、未塗装のメーターを昇降機に乗せている木箱から取り出して塗装ラインにセットする作業をしていた際、作業が少し遅れてきたので、身を乗り出すようにしてラインにメーターを置こうとして、右足で昇降機の下るペダルを踏んでいるのに気付かず、昇降機が下がり左足甲部分を挟んだ。	28	7	229	—
35	2015	7	15～ 16	出荷梱包の作業中、台車に乗っているダンボール箱を持ち上げた際に台車が動いたのに気がつかず、左足を台車に乗せてしまい転倒した。その時に台車が足首に当たり、骨折。	51	2	362	50～ 99

36	2015	7	22～ 23	退勤時、構内を自転車で通行していた際、構内交差点を進入してきた乗用車に衝突された。	44	6	231	1000 ～ 9999
37	2015	6	4～5	液晶パネルの製造工程での作業中歩行していた時に台車の車輪に左足が引っ掛かり転倒した。	49	2	362	500～ 999
38	2015	6	16～ 17	駅前ロータリーにてつまずいて転倒した。	45	2	419	300～ 499
39	2015	4	6～7	研修終了後、自己啓発として自習中、使用した道具（リード線）を片付けようとしゃがんだ状態で1～2歩移動したところ、右膝の裏に痛みを感じ立ち上がれなくなった。	18	19	351	100～ 299
40	2015	4	12～ 13	駐輪場にて、自宅で昼食後会社に戻り、止めてあった他の自転車と柱を避けきれずに、自転車に乗ったまま、左側に倒れ、右ひじを骨折した。	69	2	231	30～ 49
41	2015	3	16～ 17	平面研削盤作業中、ゴムへらでチャック面のスラッジを払う際、誤って回転中の砥石に右手薬指が触れ負傷した。	32	90	911	1～9
42	2014	12	11～ 12	書類を2階へ持っていこうと階段を上っていき、最後の一段でつまずき、踊り場へ転倒した。	49	2	413	50～ 99
43	2014	12	10～ 11	作業場で樹脂粉末をプレス機で圧着する作業に従事していた際、プレス機で圧着された金型を次の工程に送る段取りをしているとき、プレス済みの金型をすぐに取り出そうとして本来プレスが上がる際に手を入れて取り出すところをプレスが降りるタイミングで手を入れたため誤って右手人差し指をプレスで潰してしまう。	60	7	154	100～ 299
44	2014	9	8～9	工場内作業室にて、製品を組み付ける作業をしている時に、組み付け用エアシリンダーの作業規準にない位置に手を置いて作業を行い続け、作業員の不注意により、エアシリンダーに右手中指を挟んだ。	47	7	169	10～ 29





53	2014	1	14～ 15	機械現場にて現場からの設備トラブル連絡を受け、NC機械に付随する切粉圧縮機で発生した装置停止トラブルの対応中、電源ONのまま、のぞき窓から装置内に左腕を入れて切粉除去作業を行っていたため、突然動き出した切粉崩しロータとカバーに挟まれて負傷した。	40	7	159	10～ 29
54	2013	11	11～ 12	金属研磨機をセットしていた際、誤って手が回転している研磨機に触れ、手指を負傷した。	46	8	153	10～ 29
55	2013	10	9～ 10	トラックターミナルにて、トラックから降ろされたダンボール箱(ガスメーター入約30kg)を2人でパレットから台車に積み替えている際、腰を痛めた。	35	19	611	10～ 29
56	2013	9	10～ 11	製品の加工用治具を製作する為、シャーリングマシンを用いて燐青銅板を切断加工中、誤って切断刃の部分に手中指を入れ、手中指先端部を切断した。	26	8	156	30～ 49
57	2013	8	10～ 11	巻尺ケース(金属)にドラム型パネルを専用機械で巻く際、テープを巻かずに作業をしていた為、トルクのかかった状態で軸がケースから外れ、回転した軸が手中指に触れ、裂傷した。	64	8	159	30～ 49
58	2013	6	14～ 15	2階の検査室へ製品を運んでいる際、製品を落とし、製品と階段の間に手を挟んだ。	19	7	611	30～ 49
59	2013	5	16～ 17	ラジエタークーラントが沸騰していた為、確認しようと近づいたところ、リザーバータンクが破裂し、腕と胸部に熱湯を浴びた。	30	15	391	50～ 99
60	2013	5	9～ 10	トラックに機械で積載作業中、荷台の上から地面へ降りようとした際、あおりに掴まったところ、固定金具がロックされていない為、身体のバランスが崩れ、後ろ向きに転落。腰を強打した。	65	1	221	10～ 29
				会社工場内にて、契約終了した元派遣社員が無断侵入してい				

61	2013	4	8～9	る報告を受けて、職場に行ったところ、いきなり殴られ、首を絞められ、投げつけられた。その後、エレベーターに押し込まれ暴行を受けた。その際に、被災者は一方的に暴行を受けて、応戦はしていません。	41	90	921	100～ 299
62	2013	4	9～ 10	2人掛りで箱を抱え、移動させていた際、反対側に足をとられ、しりもちをつくように転倒。足首をひねり、足首の骨がずれた。	68	2	611	10～ 29
63	2013	3	8～9	地下1階通用口へ向かう為、スロープ左側を歩行中、雨で濡れていた側溝のグレーチングで足を滑らせ、転倒した。	63	2	417	300～ 499
64	2013	2	10～ 11	事務所の中から外に出ようとした際、出入口の段差に躓き、足小指から着地し、骨折した。	59	3	417	100～ 299
65	2013	1	11～ 12	クレーンの検査中、足が分銅の下敷きになり、骨折した。	68	7	211	1～9
66	2012	12	9～ 10	空調機械室の清掃作業中、ファンモーターに雑巾が絡みつき、機械を停止させず、雑巾を取り除こうとしたところ、手を巻き込まれ、ファンベルトが指に当たり負傷した。	31	7	129	300～ 499
67	2012	11	20～ 21	出張中の宿泊先近くの店で夕食、飲酒中、トイレ近くで転倒していたのを発見された。	51	2	413	300～ 499
68	2012	10	16～ 17	工場内、検査終了品（組立の完成品）を運ぶ際、ローラーに足をかけ、足を滑らせ転倒し、肩を強打した。	60	2	416	50～ 99
69	2012	8	11～ 12	駐輪場にて、自転車を取り出した際、側にあった自転車の後輪に足がからみ、尻もちをついた。隣りの家の塀に頭部をぶつけ、負傷した。	55	2	362	1～9
70	2012	8	20～ 21	業務終了後、帰宅準備の為、作業棟からロッカーのある管理棟に繋がる屋外通路を歩行中、段差で足を踏み外し、転倒した。	45	2	417	50～ 99
71	2012	7	9～	架台を手に90度回転させていた際、アングル架台が思った	31	5	379	1～9

			10	より重量があった為、架台が足の甲に落ちた。				
72	2012	5	10～ 11	製品を台車に乗せようとしたところ、太ももの辺りを痛めた。	64	19	611	1～9
73	2012	5	14～ 15	空調調整機部品を持ち、仮置き場まで移動した際、部品に上角部の確認を怠り、部品を持った状態で膝に接触させた。上角部にはL字金具が付いていた為、金具の先端が鋭利になっており、角部が膝に刺さり、負傷した。	45	8	521	100～ 299
74	2012	5	13～ 14	配電盤を2階から1階に移動した際、ハンドリフターを用いて揚貨作業を行ったところ、爪の位置が悪かった為、方向を変えた際、バランスをくずし、配電盤が移動作業補助者の足に落下した。	43	4	362	10～ 29
75	2012	4	14～ 15	計量器架台を移動するため、架台の四隅に4本ワイヤロープを掛け、床上操作式クレーンで吊り上げた。架台にワイヤロープの片方に付いていたフックを掛けていたが、フックが外れ、架台が落下した。外れたワイヤロープが跳ね、顔に当たった。架台が落下し、揺れた際、膝を打撲した。	58	4	372	300～ 499
76	2012	4	15～ 16	ボルト、ネジ部の錆を取るため、汎用旋盤を使用中、回転物には手を出さないよう指導されていたにもかかわらず、ペーパーを品物に巻き、手で磨いていたところ、ペーパーと一緒に巻き込まれ、手人差し指の指先を負傷した。	23	7	151	10～ 29
77	2012	4	10～ 11	綱パレットの中に入っていた梱包された材料（5kg程度）を持ち上げたところ、突然腰に違和感（痛み）を感じた。	43	19	611	300～ 499
78	2012	4	11～ 12	棚卸作業中、移動の際、大きなプラスチック箱につまづき、転倒。	53	2	611	100～ 299
79	2012	3	9～ 10	工場敷地内で、到着したトラックから荷物を工場内に搬入していたところ、重量物（115kg）であるにもかかわらず、二人で手持ちして移動していたところ、後ろ向きに尻餅	47	7	611	1～9

				をつき、はずみで左手中指を挟みながら引き抜いた為、爪およびその周辺がはがれた。				
80	2012	2	21～ 22	材料替え作業中、成形機上部の点検の為、近くにあったバケツ（プラスチック製ボックス）を踏み台にして足を掛けて上がろうとしたところ、バケツが滑り、身体はバランスを崩し、左横になって転倒。その際、外側のくるぶしを骨折した。尚、床には機械油がこぼれていた。	54	2	371	300～ 499
81	2012	1	18～ 19	ブラケット加工段取り作業中、（切削回転）主軸のスイッチを入れた後、加工物固定テーブル上の芯出用キー（2本）の取り除きを忘れていたことに気付き、（切削回転）主軸を背にした体勢で芯出用キー（2本）を取り除こうとしていたところ、誤って作業ズボンの背面部が（切削回転）主軸に巻き込まれて、負傷した。	51	7	152	10～ 29
82	2012	1	18～ 19	横中ぐり盤によるブラケット加工段取り作業中、（切削回転）主軸のスイッチを入れた後、加工物固定テーブル上の芯出用キー（2本）の取り除きを忘れていたのに気づき、（切削回転）主軸を背にした体勢で芯出用キー（2本）を取り除こうとしていたところ、誤って作業ズボンの背面部が（切削回転）主軸に巻き込まれ、負傷した。	51	7	152	10～ 29
83	2011	11	11～ 12	カーペット成形機の床フレームを組み立て作業中、次の2程に移動しようとした際、150H鋼を踏み外しバランスを失い、前のめりに左に傾き大勢を立て直そうとしたが、左膝から倒れ、鋼材取付座（10×50×150）の切断先端に左膝（さら部）を強打受傷した。	47	3	521	50～ 99
84	2011	9	17～ 18	当社1階工場内において、自動機の天井の配線が弛んで少し垂れ下がっていた為、修正しようと脚立に乗り、配線を止めていたところ、脚立がぐらつき、脚立の上から2段目より転落した。	44	1	371	30～ 49

85	2011	9	9～ 10	本来の仕事が少ないため、工場内の庭木の手入れを命じられ、スチール製物置（高さ2m）に梯子を掛け、物置の上に登って庭木の手入れをしていたが、降りる為、梯子に足を掛けた際、梯子が地面を滑り、梯子に乗ったまま落下して、右前の頭部を打撲した。	60	1	371	10～ 29
86	2011	8	12～ 13	休憩時間に4階の社内食堂で、給茶器にて給茶を済ませ、中央階段で3階に降りる際、足元を見ていなかった為、まだ階段途中であったが、既に階段は終りと勘違いし、左足を踏み外し、階段3～4段滑り落ち、左足甲を捻ってしまった。	42	1	413	100～ 299
87	2011	8	9～ 10	事務所内にて、プリントアウトした用紙を取に移動中、床ですべり転倒した。	26	2	416	50～ 99
88	2011	8	9～ 10	当社工場内において、ベンダーで金属材料の折り曲げ作業中、誤って上下ペダルを踏み間違え、降りて来た金型に右手、示指、中指及び環指を挟んでしまい、その際当部位を複雑骨折した。	48	7	154	1～9
89	2011	7	20～ 21	工場に隣接する1階倉庫で、検査完了品（寸法役70×30×30cm、重さ約20kgステンレス銅材）を担いで、工場の梱包場へ運んでいた際、足元に置いてあった製品に躓き、転んだところ、担いでいた製品が、左手背に落ち、左手親指付け根を骨折した。	42	2	521	50～ 99
90	2011	6	13～ 14	来客食堂入口にてほうきで掃き掃除中、持病であるてんかんの発作を発症し、背部に転倒しその時に庭石に後頭部をぶつけ損傷した。	56	2	417	500～ 999
91	2011	5	10～ 11	会社内フロアにおいて、フロア（5階）から1階に関係会社の返却機器を引き取りに行きフロアに戻ってきた際、客先からの電話着信があり、社内に1人しかいなかった為、急いで電話を取ろうと離れた入口から全速力で走り、始めの2、3歩目のところで右足のふくらはぎの肉離れをおこした。	40	19	921	30～ 49

92	2011	5	9～ 10	都市ガスメーターの上ケースを多軸自動ネジ締め機にて組つける際、両手押しスタートボタンを押した後、蓋パッキンがずれ、はみ出している事に気付き、ずれを修正しようと稼働中の設備内に手を伸ばしたため、右手親指と人差指の間がネジで締め付けられた。	24	7	169	300～ 499
93	2011	4	11～ 12	Aへ出張のため、Bから新幹線にて移動中、車中で容態が悪くなった。	50	90	921	1000 ～ 9999
94	2011	4	16～ 17	研究所1階購買課部品入在庫エリアに於いて、部品入梱包箱が6段重ねで積載された台車（高さ30cm）を移動させようとした際、台車が傾き部品入梱包箱が高さ114cmから落下し、左足の甲を直撃し転倒した。	51	5	362	300～ 499
95	2011	4	14～ 15	ドリルにて加工中皮手袋がドリルに巻込まれた	46	7	159	30～ 49
96	2011	1	16～ 17	クレーンにて、金型を吊り上げ作業中マグネットからワークが外れワークが落下、避けられず、ワークと床の間に右足を挟み骨折安全靴を着用していたが右足の打撲、骨折した。	59	4	211	30～ 49
97	2011	1	12～ 13	出張先にて車で移動中、車の後部座席に置いてあった荷物が動いてしまったので押さえようとしたところ右肩を脱臼してしまった。	34	19	611	10～ 29
98	2011	1	13～ 14	工場内での作業工具の廃棄処分の作業中、重量物を保管先である棚から数cmほどの高さの台車に乗せる際に形状的にも持ちにくかったため二人で持ち上げたが重量バランスが悪く腰を痛めてしまった。	35	19	611	300～ 499
99	2011	1	16～ 17	工場内において、自動車部品を加工中、機械点検をあやまって稼働部分のチェーンで廻しているギヤーに右で第2指を巻き込まれ負傷した。	34	7	129	1～9

100	2010	9	11～ 12	A事業所の外で、電動の丸ノコギリを使用して木製パレットを切断している時に、立ちくらみがし、電動ノコギリを持ったまま立ち上がり、安全装置により電動ノコギリは停止信号は出ていたが、高速回転な為、すぐに停止しなかった所へ左手を持って行ってしまい、切断してしまった。	49	8	131	10～ 29
-----	------	---	-----------	---	----	---	-----	-----------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例 \(-2017年\)](#)に戻る。